

# ベトサダ ニュース



NPO法人 自立支援事業所ベトサダ  
〒001-0021 札幌市北区北21条西2丁目1-3  
TEL:011-716-5130 ◆ FAX:011-708-7117  
HP: http://www.npo-bethesda.com  
mail: office@npo-bethesda.com

## 代表より

【山崎貴志】

ベトサダの創設者、故眞鍋千賀子の存命中には、車の両輪のような形で困窮者支援の活動を行っていた『合同会社なんもさサポート』の管理・運営する共同住居が先日全焼し、多くの尊い命が失われました。お悔やみを申し上げると共に、「他人事ではないな」という思いで一杯です。

3年ほど前に川崎市の簡易宿泊所で同様の火災が発生し、やはり多くの方が命を失いました。その事件を受けベトサダでは**防火設備の見直しに着手し、個人の寝床を仕切る間仕切りのカーテンを防火素材のものに交換し、各室並びに共用部分への消火器の拡充設置を行っています。**しかし建物築50年を超える木造アパート故、火の回りが早いことは容易に想像できるわけで、**日常からの防火意識を高く持つ事が重要であると考えます。**

今回の火災を始め、前述した川崎の火災、昨年は北九州と秋田で、国内において多くの犠牲者が出る火災は何故に困窮者が多く住む住宅ばかりなのでしょうか？  
築年数の多い、木造の、防火設備の設置もままならない、そのような住居に何故、困窮者が押し入れられるのでしょうか？

2月14日現在、この火災の件はマスコミでも取り上げられる頻度が激減しています。本日の地元紙朝刊では、読者の声欄に寄稿されたものと、お一人の犠牲者の身元が判明したという短い記事だけです。

しかし私たちは決してこの不幸な事件を忘れてはいけません。そして11名の尊い命を失ってしまった代償として、必ず何かを変えて行かなくてはならない。困窮者支援の活動を行う団体の代表として切に思います。

11名の方々のご冥福をお祈りいたします。

## 施設長より

ご挨拶



平成30年を迎え、会員の皆様方並びに支援者の方々におかれましては、素晴らしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

新年を迎え私共、支援の側から見た困窮者支援を取り巻く環境は、年が変わっても厳しい状況に変化は無く、好転の兆しすら無いように感じます。昨年の12月には、厚生労働省が生活保護費減額の検討に入るニュースが報道されました。その理由が、一般の低所得世帯の支出額よりも生活保護受給額がそれを上回っているからだそうです。**「何を言っているのか分からないです」**

減額が検討されている「生活扶助」は、最大一割程度、現在の給付水準から減額されるそうです。国が憲法に明記した生活保護法は、**国民は全て健康で文化的な最低限の生活を営む権利を有する事を目的に、生活困窮者の最後の砦として制定したはず**です。国民の義務である、教育・納税・勤労は

全ての人に等しく課せられている事ですが、生活保護は勤労の義務の部分に於いて何等かの理由で、働いて収入を得て生活を営む事が出来ない人が頼る制度でもあるのです。決して生活する上には、多く十分な額とは言えない受給額からの減額の検討は、**国が再考してもらいたいもの**です。国の財源の考え方の中には何かと言え、一番弱い立場の人間から対象にする感覚が、**ぬぐえない感じがしてなりません。**ならばどうして**低所得世帯と言われている人たちの賃金や収入を上げる努力や施策をしないのか**とも思っています。

給付水準については5年に一度見直しが行われており、平成25年にも引き下げられたばかりです。これがもし通ればこの余波は、保護費だけでなく医療費や教育費にまで影響が及ぶそうです。

これから先どうなる事やら。年明け早々ボヤキで始まり、これをお読みになって困窮者の方々には見苦しい事とは思いますが、困窮者支援の立場からどうしても話したかった事です。ご了承承知して下されば幸いです。

最後になりますが、皆様方の今年1年のご健勝とご発展を祈念しまして「二瓶」といたします。【二瓶】



写真は福島県の吾妻山です。早春、雪解けが始まると山肌は可愛らしい「雪うさぎ」が登場し、春の訪れを告げてくれるそうです。深い哀しみの中にも、小さな希望の灯りを見つけていきたいと、改めて思う風景です。

この度の火災は、ただただ心が痛みます。それでも、この場所には、毎日「おはよう」「今朝は冷えるね」「何気ない言葉のやり取りと笑顔があったのです。食欲が落ちてくるような心配があれば、スタツフ達も「風邪引いたんじゃないか？」「病院行くときいつでもいいからね」優しい心がある場所だったのです。そういう交流すら皆無の方々が、とても多い世の中で、決して不幸な方々だったと、私は思いません。ベトサダの支援者さまがおっしゃっていた「想ってくれ、人、心配してくれる人が居てくれること」が本当に幸せな事だと思っております。その言葉と共に、心よりお祈りしたいと思います。【佐藤】

## 事務局長より

この度の火災事故に於いて亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

立春も過ぎ本格的に春に向かい始動しています。北海道では降雪が多く、被害が出ている地域が多々あります。札幌中心部では降雪量が例年より少ないように思いますが、北海道はまだまだ寒い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

旧年中は多大なご支援を頂きまして有難うございます。29年度事業に於きましてはさらに前年度より利用者が減少しています。平成30年1月末で136名の利用者になりました。対前年比マイナス46名です。どのように捉えて行くべきなのかと考えます。

「目視出来る人数は減っているが、見えない化が進んでいる」と、確認できない生活困窮者の実数は以前と変わらな

冬場は中にいる人が沢山いるので、どこにいるか分からないと思います。一見して困窮者とわかる人は長期にわたり路上生活をしている人だけだと思います。最近の困窮者は一見しただけでは分からないのが現状だと思います。

二月一日付けで厚生労働省より『**無料職業紹介事業の認可が下りました。**ベトサダでは入居してくる人に、よりスムーズな就労をして貰う為認可を取りました。ベトサダ利用者以外への職業紹介事業は行いません。一時生活支援事業の一環として事業を行います。基本的に自分で行った活動をしてもらいます。ベトサダに登録して貰った企業様の案内が出来ました。又、就労した後、自立した後も見守る事が出来

ベトサダはベトサダのアイデンティティの元支援を行ってまいります。これから変わらぬご支援をお願い致します。【藤原】

### お願いいたします

寝具(掛敷布団、毛布、枕等)が不足しています。ご協力よろしく願いいたします

※ 日用品、下着類、お米、調味料、他保存の出来る食材等随時

- ### 【寄附者様】
- 12月1日～12月末日
- 五十嵐敏文様/NPO法人あきた
  - 結いネット坂下美沙様/NPO法人
  - 人ほっとらんど様/岡部欽一様
  - 長南輝雄様/菊池園子様/木太陽
  - 子様/札幌北一条教会様/佐藤典
  - 子様/秀欧会福祉サービスク株式会社
  - 社様/新保剛様/鈴木智雄様/聖
  - ベネディクト女子修道院様/高橋
  - 幸恵様/中野志津子様/沼崎佳子
  - 藤本孝様/政本純様/モナミ
  - コーポレーション様/安司俊夫様
  - 他 匿名希望様、40名

- 1月1日～1月末日
- 秀欧会福祉サービスク株式会社様
  - 他 匿名希望様、15名
- 更に、12月は13名、1月は3名の皆様より、ご寄附を頂きました。心よりお礼申し上げます。
- ご寄附の際に、掲載「可」または「匿名希望」のいずれかを○で囲んで頂けると助かります。尚、記載の無い方は匿名とさせていただきます。尚、記載の無い方は掲載可の方は、お手数ですがご連絡下さい。※以前いずれかの選択をされた方は、登録済みですので記入無でも大丈夫です。

入会金 無料・年会費 5,000円  
寄附 1,000円より承っております  
お一人様何口でもお受け致しております

◆年会費・寄附 送金先◆

【ゆうちょ銀行】  
口座番号 02720-1-45798  
口座名義 特定非営利活動法人 自立支援事業所 ベトサダ

みなさまの 会費・寄附は  
自立を目指す若者の  
生きる希望となります